

ごとう通信

第 257 号

令和 4 年 5 月 1 日

ゴールデンウィーク。さすがに去年よりも多くの方が外に出ています。少しずつ社会が戻っている感じですね。感染者数で言うと一年前よりも数倍多いのですが、ワクチン接種や治療法もできてきたことで重症化リスクが低くなってきたというのは大きいです。海外では「来週からコロナ対策は一切しません」なんていう政府もあります。日本ではなんとなく…なし崩し的に戻っていくでしょう。なんとも日本的。さて、この2年間オンライン化が進み、いろんなことが変わってきました。この流れはアフターコロナでも変わりません。コロナで変わったというよりも、コ

ロナによって変化が早まったという方が正しいでしょう。そして働き方も大きく変わってきました。

僕たちの仕事は直接相手の方と接しないと成り立ちませんが、在宅勤務で成果をあげられる職種もあります。そう考えると、会社での働き方は変わってきました。どうしても行かなくてはならないとき出勤、その他は在宅ということができるようになるならば、勤務時間という概念もなくなるでしょうし、通勤ラッシュも過去のものとなるでしょう。会社だって大きな建物が不要になり、小スペースになっていきます。もちろん住むところだって、環境のいい郊外や地方だっていいかもしれません。1カ月に一度だけ飛行機に乗って沖縄から出勤、なんてことも現実になるかも。

そんなことを考える中、西新宿を通るとまだまだ続く高層ビルの建設ラッシュ。時代に逆行しているのではないかと心配になります。20年後や30年後の新宿、どうなっているでしょうか。

食へのこだわり

本当につくづく思います。口から食えることが難しくなったような状態の方に「何か食べたいものや好きなものはありますか？」と尋ねた時、「何でもいい」と言うような方はその後もし食べられず、「あれが食べたい、これも食べたい」という方はその後食べられる可能性が高いということ。要は食へのこだわりや思いなのです。考えれば当たり前ですが、人間です